

公民科(政治・経済)学習指導案

鳥取県立鳥取中央育英高等学校 第3学年

指導者 岩崎 雅崇

【対象】高校3年

【教科・科目】公民科 政治・経済

【教科書】政治・経済(東京書籍)

【資料集】政治・経済資料 2024(東京法令出版)

1. 単元名(題材名) 現代日本の経済(現代経済の仕組み)

2. 単元(題材)について

(1)単元(題材)について

2020年の学習指導要領改定により金融に関する事柄を教えることが義務付けられた背景には、4つの社会的変化がある。一つめは「消費行動・購入方法の変化」。ネット通販やスマートフォンによる購入・決済が普及したことで、便利になった反面、計画的なお金の使用や管理が杜撰になっているとの危惧がある。二つめは「成人年齢の引下げ」。社会経験が未熟であるにもかかわらず、クレジットカードを使用した消費行動によってトラブルに巻き込まれる可能性が高まるおそれがある。三つめは「資産運用の一般化」。年金制度崩壊のリスクなどから、老後の資金のために資産運用を行うことが一般化しつつあり、それに伴うトラブルやリスクを回避する目的がある。四つめは「労働形態の多様化」。終身雇用制度や年功序列型賃金というシステムが大きく変化していく現代において、さまざまな選択肢の中から自分に適したものを選び、ライフプランを設計していくことの重要性が増しているため、正しい金融知識を身につけることが求められている。現代経済の仕組みを理解しつつ投資の社会的意義を理解し、具体的によりよい経済社会を実現していくことのできる国民を育成することが重要である。

本単元では、現代経済の仕組みについて、経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済と機能の限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融および財政の仕組みと機能について理解させ、併せて経済主体の一つである家庭・個人が、社会との関連性を考えながら主体的にどう生きるのかについて考えさせることを主なねらいとしている。

(2)生徒について

3年A組は特別進学クラスであり、授業に臨む態度は良好、自らの進路実現に向けてひたむきに学習に取り組むことができるクラスである。政治・経済に対する意識は高いとはいえないが、卒業後の進路を意識し始めてからは、現代社会における諸事象に関心を持ち始めている。現代経済の仕組みについて、いかに、身近な自らの課題を通じて理解させていくのか、そこに至るまでに、事象における問題点を、どう課題として意識させていくのか、具体的な事象を段階的に考察させていく丁寧な指導を繰り返すことが大切であると考え。

3. 単元の目標

- (1) 経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済と機能の限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融および財政の仕組みと機能について理解する。
- (2) 企業、市場経済、国民所得、金融、財政などの観点に着目し、現代の経済はどのような仕組みで、どのような課題を抱えているのか考察する。

4. 単元の指導計画

時間	授業日時	学習活動	使用教材など
1	10月17日 (木) 9:50～10:35	経済主体と経済の循環 ・家計・企業・政府が行う経済活動について理解する ・各主体がどのようにかかわることで経済が循環するのか考察する	・教科書
2 ・ 3	10月18日 (金) 6,7 限目 14:00～14:45 14:55～15:40	ライフプランと金融～18歳からの社会参加～ ・ゲームを通して、どの時期にどの程度の資金が必要なのか理解する ・金融リテラシーを高めるにはどうすればよいか考察する	・生活設計・マネープランゲーム
4	10月24日 (木) 9:50～10:35	生産のしくみと企業(資産形成と経済) ・企業の役割や金融の知識を活用し、資産形成と経済の関係を理解する ・投資の意義を考察する	・教科書 ・体験型投資学習アプリ「まねらん」 * 授業当日までに1カ月程度体験 ・サクサクわかる資産運用と証券投資スタートガイドブック 2024

5. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融および財政の仕組みと機能について理解している。 - 考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	企業、市場経済、国民所得、金融、財政などの観点に着目し、現代の経済はどのような仕組みで、どのような課題を抱えているか多面的・多角的に考察し、表現している。	現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

6. 指導と評価の計画(4時間)

時間	ねらい・学習活動	評価規準(評価方法)		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	ねらい ・経済主体のうち特に企業が行う経済活動に対して、影響を与える要因について考察する。 学習活動 ・企業倒産数増加の背景にある経済環境の悪化について、関連するデータなどを収集・分析	- 企業の経済活動に影響を与える要因について理解している。 - 考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り	- なぜ為替レートや物価が企業の活動やその他の経済主体に影響を与えるのか多面的・多角的に考察している。 - 理解したこと、考	企業の経済活動に影響を与える諸要因について主体的に追究し、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しよう

	することで考察し、まとめる。	り、まとめている。	察したことなどを適切な方法で表現している。	としている。
2・3	ねらい - 自分のライフプランを立て、それをもとにどの時期にどの程度の資金が必要か理解する。 学習活動 - ゲームを通して、どの時期にどの程度の資金が必要なのか理解する。 「まねらん」の体験を共有し、株式会社の特徴について理解を進めるとともに、投資の社会的意義についても理解を進める。	- 自ら立てたライフプランをもとに、どの時期にどの程度の資金が必要か理解している。 - 考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	- 経済状況に適応する経済活動とは何かを、ゲームを通して多面的・多角的に考察している。 - 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	自分のライフプランにおいてどの時期にどの程度の資金が必要か、また、「まねらん」の体験を共有することで経済社会の状況について主体的に追究しようとしている。
4	ねらい - 金融商品を購入する際にリスクとリターンのどちらを重視すべきか考察する。 - 現代の企業に求められているものは何かを考察する。 学習活動 - リスクとリターンの関係など投資に関する基本的知識と投資の社会的意義を理解し、意図をもった資産形成のあり方を考察する。	- 企業の役割や金融の知識を活用し、資産形成と経済の関係を理解している。 - 考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	- 投資の意義を考察している。 - 理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	リスクとリターンの関係、分散の考え方、また、投資や金融に関する総合的なリスクについてなど、投資における基本的知識と社会的意義を理解し、意図をもった資産形成のあり方を主体的に考察、追究しようとしている。

7. 使用教材

- ・生活設計・マネープランゲーム

<https://www.j-flec.go.jp/materials/moneyplan/>

- ・体験型投資学習アプリ「まねらん」(2025年3月末を以て、サービス終了)
- ・サクサクわかる資産運用と証券投資スタートガイドブック 2024

<https://www.j-flec.go.jp/materials/startbook/>